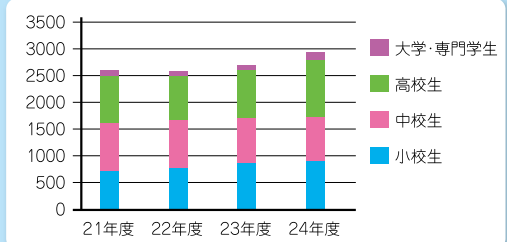


サマーボランティア体験月間

鹿児島県社会福祉協議会は、平成12年度から7月・8月の夏休み中に「サマーボランティア体験月間」を実施しています。本年度は29の市町村社会福祉協議会が209のボランティア事業を実施し、青少年(小・中・高・大学生)2,922名の参加がありました。うれしいことに年々参加者が増える傾向にあります。ここでは鹿児島市と奄美市の取組を紹介します。



〈鹿児島市〉



鹿児島市社会福祉協議会では、市内の福祉施設等にボランティアの受入を呼び掛けて、受入施設を選定します。その後、市内全域の学校から参加者を募り、午前・午後・夜間の三回にわけて、参加者向けに活動体験説明会を行っています。今年度は90施設に663名の参加があり参加者は指定された施設で一生懸命取り組んでいました。「ありがとうと言われて感動したのは初めてでした。」の小学生の感想がボランティア活動の神髄をついています。



小学生用の表紙



中学・高校生用の裏面

《私のふれあいボランティア活動カード》

また、今年9月から鹿児島市の全ての小・中・高校生(7万余名)に、「ボランティア活動カード」を配布し、活動に応じて、スタンプを付与し、10個たまると「ボランティア活動認定証」で認め・励ますといった「児童・生徒のふれあいボランティア活動事業」(旧 ボランティア・ポイント制度)に取り組んでいます。最近「ボランティア活動認定証」の発行も見られるようになり青少年のボランティア活動が活発になりそうです。

〈奄美市〉



奄美市社会福祉協議会では、「新しい自己の発見」「バリアフリーに対する理解」「共に生きていく」を目的に、多様な活動を展開しています。高齢で墓の清掃ができない方からの希望で高校生が清掃を代行するという「墓参り代行ボランティア」や施設での「車椅子の清掃ボランティア」など特色ある活動です。「きつかったけど、墓をきれいにしたいのにできない人のことを思えば頑張れた。達成感がありとてもよかった。」と参加した高校生は感想を述べていました。